連携講座③－１【聖路加国際大学】　定員　28名

◆住み慣れた場所で健康に暮らそう

主　題 高齢化社会と呼ばれる日本社会の人口構成の変化は他のどの国よりも短期間で起こっています。団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年以降は医療や介護の需要が、さらに増えることが見込まれています。

この講座ではこの問題を身近に捉え、高齢になっても住み慣れた地域で暮らすために知っておきたいことやからだをいたわり養生する方法など、病気の有無にかかわらず、その人なりの健康な暮らしについて皆で考え、学びます。演習では介護予防のための運動やヨーガを取り入れたからだの動かし方を実践します。

講座番号　③－１

時　間：午後6時～7時30分
場　所：聖路加国際大学2号館
回　数：５回
受講料：1,500円

※第４回、５回はヨーガでからだを動かしますので、動きやすい服装や飲み物を各自ご準備ください。
（更衣室をご用意します。）

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/12(水)	「ほぼ在宅、時々入院の老後」を自分で作り出す方法	山田　雅子
第2回	9/26(水)	ロコモティブシンドロームについて―健康寿命と運動のススメ―	前田　洋平
第3回	10/10(水)	からだの不調とのつきあい方、セルフケア	津田　篤太郎
第4回	10/24(水)	生活にヨーガを取り入れて介護予防①	花村　睦
第5回	11/ 7(水)	生活にヨーガを取り入れて介護予防②	

講　師　紹　介

山田　雅子（やまだ　まさこ）

聖路加国際大学教授、同大学教育センター生涯教育部部長。聖路加看護大学卒業後、聖路加国際病院、セコム在宅医療システム㈱、セコメディック病院、厚生労働省を経て、2007年より現職。在宅看護の発展を願って、長年さまざまな立場で取り組んでいる。現在、認知症の母を介護中。

前田　洋平（まえだ　ようへい）

聖路加国際病院リハビリテーション科アシスタントマネジャー、理学療法士。広島大学医学部保健学科卒業後、聖路加国際病院リハビリテーション科入職。主に脳血管疾患、運動器疾患、糖尿病などを担当。週に一回、訪問リハビリテーションにも従事している。

津田　篤太郎（つだ　とくたろう）

聖路加国際病院リウマチ膠原病センター副医長。天理よろづ相談所病院、東京女子医科大学、北里大学大学院　医療系研究科（東洋医学）、ＪＲ東京総合病院を経て2014年より現職。日本リウマチ学会専門医、日本東洋医学会漢方専門医。西洋医学と漢方の双方を生かす医療をめざしている。

花村　睦（はなむら　むつみ）

ハタヨーガ・ティーチャー。立教大学・日本女子大学卒業。米国・インドでヨーガを学び、「聞き合うコト・つなぐコト」をテーマに、ヨーガやコミュニケーションの講座を開催。誰にでも分かりやすい方法で、ハタヨーガストレッチと瞑想を行う。

会　場　図

中央区築地3-8-5 ☎6226-6388

連携講座 ③－2【三井記念美術館】　定員　40名

◆展覧会を観る

主　題 三井記念美術館が開催する平成３０年度後半の展覧会にあわせ、企画担当者がそれぞれの専門の立場から講義を行います。

２時間のうち１時間が講義、あとの１時間が展覧会の自由見学です。

※はじめて受講される方が優先されます。

※当日欠席者には、翌日以降の平日午前９時～午後５時に、区役所６階文化・生涯学習課生涯学習係で入場券をお渡しします。

講座番号　③－2

時　間：午後2時～4時
場　所：三井記念美術館
回　数：3回
受講料：900円
入館料：2,100円（３回分）

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	10/16(火)	特別展「仏像の姿（かたち）」～微笑（ほほえ）む・飾る・踊る～	海老澤　るりは
第2回	1/15(火)	国宝 雪松図と動物アート	清水　実
第3回	3/ 5(火)	三井家のおひなさま	小林　祐子

講　師　紹　介

海老澤　るりは（えびさわ　るりは）

三井記念美術館主任学芸員。成城大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得満期退学。専門は日本彫刻史。

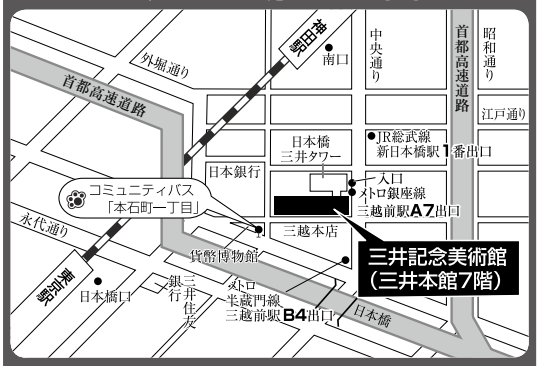
清水　実（しみず　みのる）

三井記念美術館学芸部長。國學院大學史学科卒業。専門は宗教美術史・文化史、茶道美術。

小林　祐子（こばやし　ゆうこ）

三井記念美術館主任学芸員。学習院大学大学院人文学科研究科博士後期課程単位取得退学。財団法人永青文庫学芸員を経て2004年10月から現職。専門は日本漆工史。

会　場　図



中央区日本橋室町2-1-1　三井本館7階
☎5777-8600

三井記念美術館　展覧会スケジュール

特別展　「仏像の姿（かたち）」～微笑（ほほえ）む・飾る・踊る～

2018年9月15日～11月25日

日本には、古来多くの優れた仏像が伝えられています。本展覧会は、これら仏像の作者である仏師の豊かな独創性と高度な技術に光を当て、特に仏像の「顔」「装飾」「動き」を切り口に、多様な表現による魅力的な仏像を一堂に展示して、日本人の心と創造力を様々な角度からご覧いただきます。そして、それが未来にどのように継承されるかを考えます。

国宝 雪松図と動物アート

2018年12月13日～2019年1月31日

年末年始恒例の館蔵品展。今回は円山応挙筆「国宝 雪松図屏風」を全期間展示します。また、茶道具の名品にあわせて館蔵品の中から、動物をテーマにした絵画や工芸品を展示します。空想の動物「龍」や「獅子」なども含め、馬・猿・鹿・狐・狸・兎・猫・栗鼠など、美術における動物アートをご覧いただきます。

三井家のおひなさま　特別展示 人間国宝・平田郷陽の市松人形

2019年2月9日～4月7日

毎年恒例となりました、日本橋に春の訪れを告げる「三井家のおひなさま」展。三井家の夫人や娘たちがこよなく愛した、ひな人形・ひな道具の華麗なる競演をお楽しみください。

展示室６・７では、人形の分野で初めて重要無形文化財保持者(人間国宝)となった平田郷陽(1903-1981) が製作した「市松人形 銘つぼみ」(新町三井家蔵)を中心とする、愛らしい市松人形の世界をご紹介します。

連携講座 ③－3【松竹株式会社】　定員　80名

◆歌舞伎ものしり講座

主　題 歌舞伎は江戸時代の日本人が創り出したエンターテイメントの最高傑作と言えるでしょう。そこには優れた色彩感覚や音楽、言葉の遊びが溢れ、綿密に練り上げられたストーリーは自由奔放に展開し、時には奇想天外な楽しさで観客を魅了します。その主役はなんといっても、舞台で華やかなオーラを放つ歌舞伎俳優たち。時代を超えて、脈々と受け継がれてきた芸は、観客からパワーを得てますます輝き出す・・・、だから歌舞伎は面白い！

今回の講座では、歌舞伎座一等席での観劇（11 月公演）を通して歌舞伎の楽しさを体感していただきます。

※初めて受講される方が優先されます。
※第１回～５回のうち１回にゲストをお招きする予定です。ゲストの都合により、講座内容が入れ替わる場合がありますので、ご了承ください。

講座番号　③－3

時　間：午後2時～3時30分
※第4回は午後2時～9時
場　所：築地社会教育会館ほか
※第4回は講義後、歌舞伎座
回　数：5回
受講料：2,500円
観劇料：14,000円～15,000円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	10/ 4(木)	歌舞伎の外題（げだい）は言葉遊びの見本市	金田　栄一
第2回	10/18(木)	衣裳の様々なおもしろさ	
第3回	11/ 1(木)	ドラマチックな歌舞伎座の変遷	
第4回	11/15(木)	観劇の手引きと観劇	
第5回	11/29(木)	まだある歌舞伎の豆知識	

講　師　紹　介

金田　栄一（かねだ　えいいち）

歌舞伎座舞台㈱顧問。大学在学中は歌舞伎研究会に所属し、1971年立教大学卒業後、松竹株式会社入社。歌舞伎座宣伝課長、副支配人、支配人、演劇本部ゼネラルマネージャーを経て、2005年５月から㈱伝統文化放送代表取締役社長就任。2008年から歌舞伎座舞台㈱代表取締役社長、2012年から現職。

歌舞伎座外観

会場図（第４回講義終了後）

中央区銀座4-12-15

連携講座 ③ー4【慶應義塾大学　福澤研究センター】　定員　60名

◆福澤諭吉と明治150年

講座番号　③ー4

時　間：午後2時～4時
場　所：築地社会教育会館
回　数：5回
受講料：1,500円

主　題 今年は 1868 年に「明治」と改元されてから 150 年になります。近代日本の始期についてはさまざまな説がありますが、政治史的にはこの年をもって近代の始まりと言っていいでしょう。近代日本の中で、福澤諭吉は、政治、経済、文化、さまざまな面で社会に多大な影響をおよぼしたことは言うまでもありません。一方、福澤は、1835 年生まれで 1901 年に死去しており、彼にとって 1868 年は人生のちょうど中間点に位置します。彼の中には明らかに「近世」を継承していた部分もあったのです。近世と近代を半々に生き、その間、東洋の学問も西洋の学問も学ぶ。彼の視野の広さとスケールの大きさはそうしたところから形成されたと言えるでしょう。

この講座では、そんな福澤諭吉を、5 人の講師がそれぞれの専門の切り口から捉えます。

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/26(水)	家族とは何か	西澤　直子
第2回	10/ 3(水)	福澤諭吉の表象（イメージ）から明治維新を考える	都倉　武之
第3回	10/10(水)	福澤諭吉門下の企業家たち	平野　隆
第4回	10/17(水)	マージナル・マン福澤諭吉 ～近世と近代、東洋と西洋のはざまで～	井奥　成彦
第5回	10/24(水)	福澤諭吉と西郷隆盛	小川原　正道

講　師　紹　介

西澤　直子（にしざわ　なおこ）

慶應義塾福澤研究センター教授・副所長。1986年慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程修了。研究テーマは、主に福澤諭吉の女性論、家族論と中津士族社会。著書に『福澤諭吉とフリーラヴ』、『福澤諭吉と女性』（共に、慶應義塾大学出版会）、共著書に『時代を生きた女たち』など。

都倉　武之（とくら　たけゆき）

慶應義塾福澤研究センター准教授。2007年慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。専門は近代日本政治史・政治思想史、メディア史。共著に『近代日本と福澤諭吉』、『福澤諭吉の思想と近代化構想』（共に、慶應義塾大学出版会）など。

平野　隆（ひらの　たかし）

慶應義塾大学商学部教授、福澤研究センター副所長。1992年慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学。専門は産業史・経営史。主要業績に『百貨店の文化史』、『日本帝国勢力圏の東アジア都市経済』（以上、共著書）、「福澤諭吉と門下生の企業家たち」（『大倉山論集』63輯所収）など。

井奥　成彦（いおく　しげひこ）

慶應義塾大学文学部教授、福澤研究センター所長。1986年明治大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。専門は日本の在来産業史。特に醤油醸造業史。著書に『19世紀日本の商品生産と流通―農業・農産加工業の発展と地域市場―』（日本経済評論社）、編著書に『時代を超えた経営者たち』（日本経済評論社）など。

小川原　正道（おがわら　まさみち）

慶應義塾大学法学部教授、福澤研究センター所員。2003年慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程修了。博士（法学）。2013年～14年ハーバード大学（アメリカ）客員研究員。専門は日本政治思想史。著書に『福澤諭吉の政治思想』（慶應義塾大学出版会）、『西南戦争―西郷隆盛と日本最後の内戦』（中央公論新社）など。

連携講座 ③－5【認定特定非営利活動法人トリトン・アーツ・ネットワーク】 定員 30名

◆フルート体験つきで楽しむ、クラシック音楽講座

愛と野望のベートーベン～ベートーベンの交響曲を聴こう！

主 題 大人気！ 音楽ホールでのクラシック鑑賞をより楽しむための体験つき講座です。今回のテーマは「ベートーベンの交響曲」。「第九」や「運命」などで有名なベートーベンの人柄や作品の魅力に迫ります。有田栄（時々作曲家たちが憑依）による親しみやすい講義と、フルートの体験、ホール見学がセットとなり、最終回は、実際に第一生命ホールで行われるベートーベンの交響曲第２番と第５番「運命」を楽しみます。

講座番号 ③－5

時　間：午後２時～４時（第1・3回）／
午前10時～正午（第2回）／
午後２時～３時30分（第4回）
場　所：晴海トリトンスクエア
X棟5階会議室（第1・3回）／
第一生命ホール（第2・4回）
回　数：4回
受講料：2,000円
鑑賞料：5,500円（S席）

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/22(土)	人生はテンペスト　――ベートーベンという男（人物と作品の概説）、フルート体験	有田　栄 益田善太／黒田聰（フルート体験）
第2回	10/14(日)	ドラマがなけりゃ意味ないね――"人生のドラマ"としての交響曲（ベートーベンの交響曲概説）、ホール見学	有田　栄
第3回	10/27(土)	"運命"はかく語りき――第５交響曲の魅力解剖！	有田　栄
第4回	12/ 1(土)	公演鑑賞「トリトン晴れた海のオーケストラによる交響曲第２番&第５番"運命"」	

講師紹介

有田　栄（ありた さかえ）

昭和音楽大学教授（音楽学）。東京藝術大学音楽学部楽理科、同大学院修士課程を経て、同博士後期課程修了。専門は西洋音楽史および現代の音楽・音楽美学。西洋芸術音楽における声の伝統をテーマに研究。他方で執筆や、ラジオ・TV音楽番組への出演、公開講座や講演を通じ、古楽から現代音楽までさまざまなジャンルの音楽の紹介に努めている。NHK-FM「オペラ・ファンタスティカ」番組パーソナリティ。近著『わからない音楽なんてない！子どものためのコンサートを考える』（アルテスパブリッシング）（共著）。

益田　善太（ますだ　ぜんた）

ムラマツ・フルート・レッスンセンター講師、東邦音楽大学専任講師、同短期大学講師。東京藝術大学卒業。同大学院修了。フルートを佐藤直美、中野富雄、金昌国、P.マイゼンの諸氏に師事。

黒田　聰（くろだ　さとし）

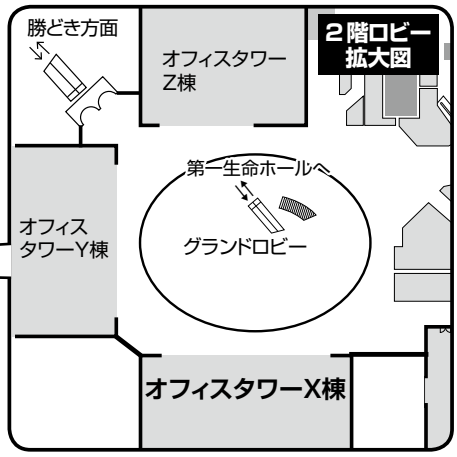
ムラマツ・フルート・レッスンセンター講師。東京藝術大学卒業後、ドイツ・シュトゥットガルト国立芸術大学に留学、2007年卒業。フルートを石橋正治、金昌国、中川昌三、J=C.ジェラールの諸氏に師事。

認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク（TAN）とは

音楽活動を通じて地域社会に貢献する認定NPO法人。晴海トリトンスクエア内にある第一生命ホールを拠点とし、ホールの主催公演である芸術活動と、周辺地域を中心としたコミュニティ活動を２本の柱として、会員とサポーター（ボランティア）、寄付者の支えを受けて実施している。

会場図

第1回、3回　中央区晴海1-8-10　5階
第2回、4回　中央区晴海1-8-9



連携講座 ③−6【小津和紙】　定員　30名

◆江戸の小津和紙　アートになる和紙

主　題 創業365年目を迎える小津和紙。今回は江戸時代の小津和紙について、江戸文化研究家の先生にお話をしていただきます。小津和紙と本居宣長との知られざる関係、江戸文化のお話を交えて楽しく分かりやすく解説してくださいます。また、合掌造りで有名な富山県五箇山で和紙の製造に携わる職人さんにお話をうかがい、和紙による美しいちぎり絵体験をしてただきます。最終回は恒例の紙漉き体験を通して和紙をより身近に感じていただける講座です。

講座番号③−6

時　間：午後3時30分〜5時30分
場　所：日本橋小津和紙
回　数：4回
受講料：1,200円
材料費：1,000円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/14（金）	江戸時代の小津和紙 本居宣長との知られざる関係/小津史料館見学	菅野　俊輔
第2回	9/28（金）	五箇山の紙漉きについて	宮本　謙三
第3回	10/12（金）	ちぎり絵体験	崎長　史
第4回	10/26（金）	紙漉き体験と小津和紙照覧他、館内案内	高木　清

講師紹介

菅野　俊輔（かんの　しゅんすけ）

1972年早稲田大学政経学部卒業。江戸文化研究家・古文書研究家として、小津文化教室をはじめ、早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校、毎日文化センター、読売・日本テレビ文化センターなどで講師を勤めながら、講演・著述・テレビ出演など幅広く活動中。主な著書に『江戸っ子が惚れた忠臣蔵』（小学館）、『江戸の長者番付』（青春新書）、『書いておぼえる江戸のくずし字いろは入門』（柏書房）など多数。

宮本　謙三（みやもと　けんぞう）

代々五箇山の自宅にて紙漉きを継承。東中江和紙加工生産組合にて和紙作り。主に乾燥・選別・発送を担当。原料の楮の栽培から和紙の製造にも係る。誠実な和紙作りを旨としている。現在和紙文化研究会会員。

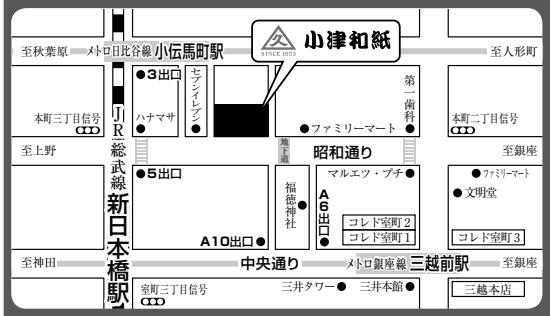
崎長　史（さきなが　ふみ）

1964年女子美術短期大学造形美術科卒業後、済美高等学校美術科にて指導。夫の転勤に伴い千葉に転居後、水墨画・油絵・日本画・和紙ちぎり絵などを学び、1987年和紙の絵「史の会」を開設。現在、光風会に所属し、全国和紙画展（美濃市）全国和紙ちぎり絵展（五箇山）に招待作家として出展している。現在、千葉および小津文化教室にて「和紙の絵」講座開講中。

高木　清（たかぎ　きよし）

小津和紙副店長、小津和紙広報担当。1960年生まれ。1983年小津産業株式会社入社後、不織布による工業用ワイパーの企画販売、不織布による生活雑貨品の企画販売、機械抄き和紙による産業原紙の企画販売を担当。2009年株式会社小津商店へ移籍。小津和紙にて手漉き和紙および機械抄き和紙の販売を担当。現在手漉き和紙体験工房指導員を兼ねる。

会場図



中央区日本橋本町3-6-2

小津和紙　展覧会スケジュール

9/10（月）〜9/15（土）　**湊恭太 木工展**
9/24（月）〜9/29（土）　**髙木ひろ子展**
10/ 8（月）〜10/13（土）　**書とボールペン作品展**
10/23（火）〜10/27（土）　**玄水影絵展**

連携講座 ③－7【奈良まほろば館】　定員　35名

◆『万葉集』を読む～大伴家持生誕1300年～

主　題 今年（2018年）は、大伴家持が誕生して1300年目の記念の年にあたります。家持は718（養老2）年に生まれたという説が有力で、約4500余首ある万葉歌の内、１割を超える約480首もの歌を残しており、『万葉集』の編纂者と目されています。

この講座では、そんな大伴家持を切り口として、現存最古の和歌集であり奈良県にゆかりの深い『万葉集』の魅力を再発見いただけます。

講座番号　③－7

時　間：午後2時～3時30分
場　所：奈良まほろば館２階
回　数：3回
受講料：900円
定　員：35名
（35名は中央区、35名は奈良まほろば館で募集）

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	10/ 6(土)	大伴家持と外国文化	井上　さやか
第2回	11/25(日)	大伴家持の歌学び	新沢　典子
第3回	12/ 9(日)	家持が編んだ『万葉集』	市瀬　雅之

講　師　紹　介

井上　さやか（いのうえ　さやか）

奈良県立万葉文化館指導研究員。博士（文学）。専門分野は『万葉集』を中心とした日本文学・日本文化。著書に『山部赤人と叙景』（新典社）、『万葉集からみる「世界」』（新典社新書）、監修に『マンガで楽しむ古典 万葉集』（ナツメ社）。中西進監修『歌人 大伴家持―現代と響き合う詩心』（シー・エー・ピー）などにも執筆。

新沢　典子（しんざわ　のりこ）

鶴見大学文学部教授。博士（文学）。専門は上代文学。著書に『万葉歌に映る古代和歌史大伴家持・表現と編纂の交点』（笠間書院）、論文に「駅路の敷設と説話の形成」（『国文鶴見』52号）など。

市瀬　雅之（いちのせ　まさゆき）

梅花女子大学文化表現学部教授。博士（文学）。専門は、上代文学。著書に『大伴家持論 文学と氏族伝統』、『万葉集編纂論』、『北大阪に眠る古代天皇と貴族たち』（梅花学園生涯学習センター）、供著に『東海の万葉歌』（おうふう）、『万葉集編纂構想論』（笠間書院）など。

会　場　図

【交通】■地下鉄 銀座線・半蔵門線「三越前駅」A1出口
■東京駅八重洲口からメトロリンク日本橋（無料バス）「地下鉄三越前駅」下車

中央区日本橋室町1-6-2
日本橋室町162ビル2F　☎3516-3931

奈良まほろば館での募集　35名

定員の半数は奈良まほろば館で募集します。
区外の方もお申し込みできます。

【申し込み方法】
奈良まほろば館のホームページ「講座案内」
（http://www.mahoroba-kan.jp/course.html）
の申し込みフォームまたは往復はがきで
（記載事項は本誌２ページ、記入例の①～⑦）
8月17日（必着）までに申し込む。

【申し込み先】
〒103-0022
中央区日本橋室町 1-6-2
奈良まほろば館

※中央区（区内在住・在勤・在学者）か奈良まほろば館（どなたでも）かどちらか一方でお申し込みください。

奈良まほろば館では、奈良の特産品・伝統工芸品・産地直送の大和野菜などを販売。
また、奈良に詳しい観光コンシェルジュが観光情報をご案内しますので、ぜひお立ち寄りください！
詳細はホームページ (http://www.mahoroba-kan.jp) をご覧ください。

連携講座 ③−8【金沢大学】 定員 60名

◆金沢を知る〜Legacy〜

託児付
【対象】
2歳半〜
未就学児

主 題 2015年3月14日、北陸新幹線が金沢まで開業し、首都圏−金沢間が最短で2時間半で結ばれ、金沢がぐっと近くなりました。金沢をより身近に感じていただくため、この講座ではさまざまな角度から金沢をご紹介します。

今年度は「レガシー（後世に残したいもの）」をキーワードに、「食文化（発酵）」「伝統工芸（箔）」「言語文化（方言）」の、3つの伝統・文化を「金沢レガシー」として取り上げます。これら金沢を代表する3つの文化の紹介をとおして、伝統・文化を後世へつなぐことの意義についてお話しします。

金沢を知り、興味・関心が深まることで、実際に足を運んでいただくきっかけになれば幸いです。

講座番号 ③−8

時 間：午後2時〜3時30分

場 所：築地社会教育会館

回 数：3回

受講料：900円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	11/24(土)	金沢の伝統発酵食と機能性食品	鈴木 信孝
第2回	12/ 1(土)	金沢金箔と箔打紙について	山岸 忠明
第3回	12/ 8(土)	金沢方言の歴史と今	加藤 和夫

講師紹介

鈴木 信孝（すずき のぶたか）

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 臨床研究開発補完代替医療学講座 特任教授。医学博士（産科婦人科学）。防衛医科大学校卒業。補完代替医療学、なかでも食品の機能性が専門。

山岸 忠明（やまぎし ただあき）

金沢大学理工研究域物質化学系教授。物質化学類応用化学コース担当。工学博士。京都大学博士課程工学研究科高分子化学修了。専門は機能性高分子材料の合成と解析。

加藤 和夫（かとう かずお）

金沢大学人間社会研究域歴史言語文化学系教授。国際学類日本・日本語教育コース担当。文学修士。福井大学教育学部卒業。東京都立大学大学院人文科学研究科国文学専攻修士課程修了。専門は日本語学、方言学、社会言語学。

金沢城・石川門（写真提供：金沢市）

連携講座 ③−9【三重テラス】 定員 50名

◆〜日本の文化聖地・三重の“宝”〜 伊勢神宮

主 題 紀伊半島の東に位置する三重県。みなさんはどのようなイメージをお持ちですか？忍者、海女、熊野古道、松阪牛・伊賀牛、伊勢えび、あおさ、伊勢うどん・・・。

本講座は、「三重の「いいとこ」ぜんぶ日本橋へ。」をテーマに日本橋室町で情報発信を行っている三重テラスとの連携講座です。

海、山、川の美しい自然の中で、農業や林業、漁業が盛んに行われている三重県の歴史や文化、伝統など、たくさんの魅力を学びましょう。今回の連携講座では、「伊勢神宮」をテーマにお届けします。

講座番号③−9

時 間：午後2時〜3時30分
場 所：三重テラス
　　２階イベントスペース
回 数：2回
受講料：600円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	11/ 7(水)	伊勢神宮 ーお伊勢参りの楽しみー	千種 清美
第2回	11/21(水)	伊勢神宮 ー20年に一度の式年遷宮とは？ー	

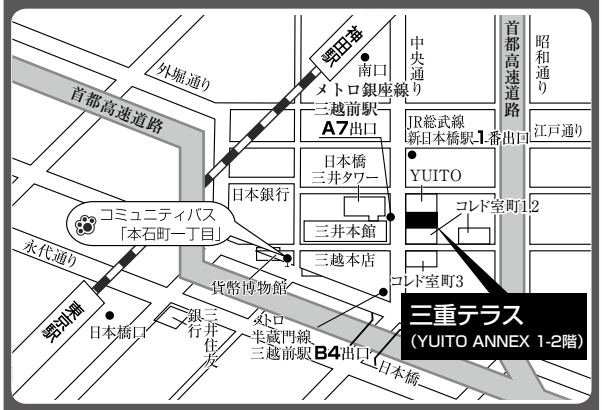
講師紹介

千種 清美（ちくさ きよみ）

文筆家、皇學館大学非常勤講師、三重県明和町観光大使。三重県生まれ。三重の地域誌『伊勢志摩』編集長を経て文筆業に。新幹線車内誌『月刊ひととき』に「伊勢、永遠の聖地」を８年間にわたり連載。伊勢神宮の第62回式年遷宮については遷宮諸祭を取材し、遷御の儀では式年遷宮広報本部によるインターネット動画配信の司会進行を担当。伊勢神宮についての講演や執筆活動を行う。近著に『三重 祭りの食紀行』(風媒社)、『伊勢開運手帳』(simple編集部)、ほかに『女神の聖地、伊勢神宮』(小学館新書・全国学校図書館協議会選定図書)など。式年遷宮特別番組『お伊勢さん』(三重テレビ放送制作、第１回は中部テレビ大賞)、現在放映中の特別番組『宝刀』全10本の脚本担当。

伊勢神宮 宇治橋

会場図



中央区日本橋室町2-4-1
YUITO ANNEX 1F・2F

連携講座③－10【築地本願寺　GINZA　SALON】　定員　45名

◆仏教と伝統文化を知る

主　題 築地本願寺は、浄土真宗本願寺派（西本願寺）の直轄寺院です。お寺がありますのは中央区築地ですが、「築地」とは元々佃島に住む浄土真宗の門徒が、幕府から下附された海上を寺院が立つよう海を埋め立て、土地を築いたことに由来します。

築地本願寺にはいまも多くの方々が参拝されますが、より多くの方々とのご縁を結ぶため、2016年５月より銀座２丁目に「築地本願寺 GINZA SALON」を開所いたしました。今回はいつもSALONにご出講いただいております２名の講師にお話をいただきます。小山一行先生には浄土真宗を開かれた親鸞聖人のご生涯について、またSALONからほど近い老舗の「銀座香十」前代表の稲坂良弘先生より「香と源氏物語」についてお話をうかがいます。

どのような宗派の方のご参加も歓迎いたします。法事やお墓のことだけではない、さまざまなお寺の取り組みについて、知っていただければ幸いです。

講座番号③－10

時　　間：午後2時～3時30分
場　　所：築地本願寺GINZA SALON
回　　数：2回
受講料：600円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	10/15(月)	「香と源氏物語」驚きの発見・早解り 90分	稲坂　良弘
第2回	12/ 3(月)	やさしい仏教入門 ～親鸞聖人の生涯に学ぶ～	小山　一行

講　師　紹　介

稲坂　良弘（いなさか　よしひろ）

劇作家。香の伝道師と呼ばれ、講演・講座多数。早大演劇科卒。劇団文学座（研究所三期）を経て、脚本作家。CMディレクターとしても活躍。1982年、ニューヨーク国連本部大ホールの「香道」実演紹介の構成演出。米国各大学巡演。著書『香と日本人』（角川文庫）など。銀座香十前代表・日本香道HD特別顧問。

小山　一行（おやま　いちぎょう）

武蔵野大学特任教授。東洋大学大学院文学研究科（仏教学専攻）博士課程単位取得満期退学。文学修士（東洋大学）。筑紫女学園大学教授、同学長を歴任。浄土真宗本願寺派香覚寺住職（熊本県）。インドの大乗仏教の研究から始めて、主として浄土教、親鸞聖人の思想研究に携わっている。著書に『釈尊の道 - その生涯と教え - 』、『親鸞のいいたかったこと』、『高僧和讃に聞く』（共に、山喜房仏書林）など。

築地本願寺　外観
※会場は、GINZA SALONです。

会　場　図

中央区銀座2丁目6-4
竹中銀座ビルディング5階

連携講座 ③－11【ぐんまちゃん家】　定員　30名

◆まるごと！ぐんま学 ～群馬の歴史と文化を知る～

主　題 群馬県は、古来より東国の要、信越地方と関東を結ぶ要衝の地として歴史を重ねて来ました。東国文化の中心地として栄えた証として、古墳や遺跡などもたくさんあり、古くから受け継がれてきた文化が根付いています。

上毛三山（赤城・榛名・妙義）などの山々や、尾瀬、利根川などの清流といった豊かな自然環境。草津や伊香保、水上、四万をはじめとする数々の温泉。群馬県には、たくさんの魅力があふれています。

奥深い歴史と文化を持つ「ぐんま」の魅力を学べる連続講座です。

講座番号 ③－11

時　間：午前10時30分～正午
場　所：群馬銀行東京支店
　　４階会議室
回　数：3回
受講料：900円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	11/ 1(木)	綿貫観音山古墳とその世界	徳江　秀夫
第2回	11/ 8(木)	ぐんまの山の楽しみ方	安類　智仁
第3回	11/15(木)	ぐんまの温泉文化	熊倉　弘靖

講　師　紹　介

徳江　秀夫（とくえ　ひでお）

群馬県立歴史博物館専門調査官（2018年から）。國學院大学卒。1979年から群馬県埋蔵文化財調査事業団研究員として発掘調査や調査報告書の作成などに従事。特に古墳時代を専門に研究。主な論文に、「上野地域における装飾付大刀の基礎調査」『研究紀要』10（群馬県埋蔵文化財調査事業団　1992）「上野地域の装飾付大刀と後期古墳」『装飾付大刀と後期古墳』（島根県教育庁古代文化センター　2005）などがある。

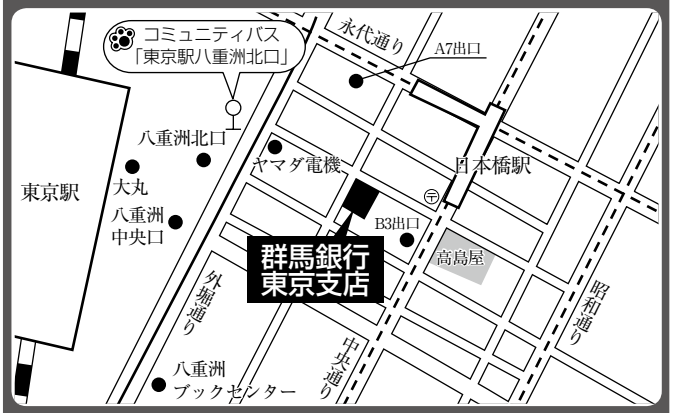
熊倉　弘靖（くまくら　ひろやす）

高崎商科大学特任教授。群馬テレビ顧問。群馬県生まれ。京都大学理学部中退。シンクタンク勤務、県立女子大学の群馬学センター副センター長を経て現職。専門は日本古代史、社会教育、行政評価、地域づくりと多岐にわたる。主な著書に『日本語誕生の時代、上野三碑からのアプローチ』、『井上房一郎・人と功績』、『古代東国の王者　上毛野氏の研究』などがある。

安類　智仁（あんるい　ともひと）

尾瀬ガイド協会認定審査委員長、NPO法人片品・山と森の学校副代表。 尾瀬専門のプロガイドとして活動している。尾瀬自然ガイド、尾瀬登山ガイド、環境省エコツーリズム推進アドバイザー、第３次尾瀬総合学術調査団員。

会　場　図



中央区日本橋2-3-21
群馬ビルディング4階

連携講座 ③－12【近畿大学】　定員　40名

◆マグロだけじゃない！生活を豊かにする 近畿大学農学部の最先端研究

主　題「農学部」と聞けば、田畑を耕し、牛や豚などの家畜を育てる姿を想像されますか？この講座では、近畿大学農学部で取り組んでいる（1）私たちとって理想的な食生活を考える、（2）水産物を利用する私たちにとって都合の悪い微生物と都合の良い微生物、（3）多収量の作物やユーグレナ（ミドリムシ）からの燃料生産、の３つの話題を紹介します。最先端の農学研究が我々の生活に身近なものであることを実感していただければと思います。

講座番号 ③－12

時　間：午後2時～3時30分
場　所：近畿大学東京センター
回　数：3回
受講料：900円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	10/20(土)	食品による疾患の予防	財満　信宏
第2回	10/27(土)	魚を病気にする微生物と魚を美味しくする微生物	永田　恵里奈
第3回	11/~~10~~17(土)	遺伝子組換え植物で食糧・環境・エネルギー問題を解決！	田茂井　政宏

講　師　紹　介

財満　信宏（ざいま　のぶひろ）

近畿大学農学部准教授、近畿大学アグリ技術革新研究所兼務。京都大学農学部卒業。京都大学大学院農学研究科博士後期課程修了、博士（農学）。2015年より現職。疾患の発症機構解明と予防・治療法の確立を目的とした研究を行ってきた。

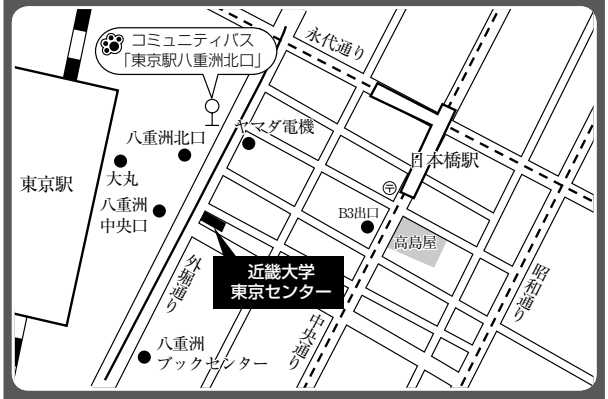
永田　恵里奈（ながた　えりな）

近畿大学農学部講師。近畿大学農学部卒業。近畿大学大学院農学研究科博士後期課程修了、博士（農学）。2014年より現職。魚病細菌の感染経路・生残機構に関する研究や養殖漁場海底や水産発酵食品の乳酸菌に関する研究を行ってきた。

田茂井　政宏（たもい　まさひろ）

近畿大学農学部教授、近畿大学アグリ技術革新研究所兼務。近畿大学農学部食品栄養学科卒業。同大学院農学研究科課博士後期課程修了、博士（農学）。2018年より現職。植物や微細藻類の光合成炭素代謝制御機構の解明および遺伝子組換え植物を利用した有用作物（藻類）の作出を行ってきた。

会　場　図



中央区八重洲1-8-16
新槇町ビル13階

連携講座 ③－13【朝日新聞社】　定員　70名

◆朝日新聞記者が時事を読み解く
～新時代の幕開けを前に～

主　題「平成」という時代は、現在の天皇陛下の退位とともに2019年４月で幕を下ろします。振り返れば平成元年にベルリンの壁が消え、ほどなくしてバブル経済が崩壊するなど、昭和から平成への「代替わり」は、奇しくも歴史の転換点に重なりました。果たして今回の代替わりでは――。

国際社会、政治、経済などさまざまな切り口から、朝日新聞のベテラン記者が、豊富な取材経験と最新の情報をもとに解説します。

※講師と講演のテーマは変更される場合があります。

講座番号　③－13

時　間：午後4時～5時30分
場　所：朝日新聞東京本社
　　２階読者ホール
回　数：5回
受講料：1,500円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	1/17(木)	政権の課題　～最新の状況を踏まえて～	内田　晃
第2回	1/24(木)	朝鮮半島の行方	箱田　哲也
第3回	1/31(木)	皇室と向き合う　～天皇代替わりの年に～	北野　隆一
第4回	2/ 7(木)	報道写真の「これまで」と「これから」	朝日　教之
第5回	2/14(木)	日本経済は「復活」したのか	石川　尚文

講　師　紹　介

内田　晃（うちだ　あきら）

朝日新聞論説委員（政治担当）。1973年東京都生まれ。1997年入社。栃木、北海道勤務を経て2002年から政治部。政治部では首相官邸、自民党、旧民主党、総務省、外務省などを担当。GLOBE編集部にも在籍した。前首相官邸クラブキャップ。2017年９月から現職。

箱田　哲也（はこだ　てつや）

朝日新聞論説委員（国際担当）。大阪府大阪市出身。1988年入社。鹿児島支局勤務の後、韓国･延世大学校 韓国語学堂へ留学。那覇支局、東京本社外報部、ソウル支局員、名古屋本社社会部、外報部次長（朝鮮半島担当）、ソウル支局長を歴任し、2013年4月から現職。共著に『日本と朝鮮半島　100年の明日』（彩流社）。

北野　隆一（きたの　りゅういち）

朝日新聞編集委員。岐阜県生まれ。1990年入社。新潟、宮崎県延岡、北九州、熊本に赴任し、2001～02年に米ハーバード大学日米関係プログラム研究員。東京本社社会部次長を経て2014年から現職。社会部で警視庁や宮内庁を担当し、皇室や北朝鮮拉致、水俣病問題など取材。共著に『祈りの旅　天皇皇后、被災地への想い』（朝日新聞出版）、『徹底検証　日本の右傾化』（筑摩選書）など。

朝日　教之（あさひ　のりゆき）

1982年朝日新聞社入社。大阪本社写真部、阪神支局を経て、1987年から東京本社写真部。チベット奥地のルポや天安門事件を取材。神戸の児童殺傷事件をきっかけに中学生の心の動きをルポする連載「素顔の中学生　保健室から」をデスクとして企画、1998年日本新聞協会賞を受賞。アエラ･フォトディレクター、ジャーナリスト学校などを経て、現在はCSR推進部にシニアスタッフとして勤務。

石川　尚文（いしかわ　なおふみ）

朝日新聞論説委員（経済担当）。1963年東京都生まれ。1989年に入社後、福井、京都の両支局に勤務。大阪と東京、福岡の経済部、『論座』編集部、GLOBE編集部などを経て2016年９月から現職。バブル崩壊後の金融システム不安、デフレ下の金融政策などを取材。関心事は、人口減少が経済・社会の様々な分野に与える影響について。

会　場　図

中央区築地5－3－2

連携講座③－14【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　定員　30名

◆シャーロック・ホームズの魅力をさぐる

主　題 名探偵の代名詞にもなっているシャーロック・ホームズ。ホームズと友人ワトスンが活躍する物語の第一作『緋色の研究』が発表されたのは 130 年以上も前になります。それ以来今日まで、世界中でこれほど長い期間にわたって人気を持ち続けてきた秘密は何なのでしょう。物語の魅力とそこに秘められた謎、日本への移入史、代表的な翻訳家延原謙、物語を生んだイギリスの世紀末ヴィクトリア朝の時代背景や作者コナン・ドイルの生涯、ホームズ映画の歴史など、さまざまな面からご一緒に楽しんでみたいと思います。

なお、これからホームズ物語を読もうとされている方のご参加も大歓迎ですが、トリックに触れざるを得ないこともありますので、最初の短篇集『シャーロック・ホームズの冒険』を読んでおかれるといっそうお楽しみいただけると思います。

講座番号③－14

時　間：午後5時～6時30分
場　所：早稲田大学
　　エクステンションセンター
　　八丁堀校
回　数：10回
受講料：7,000円

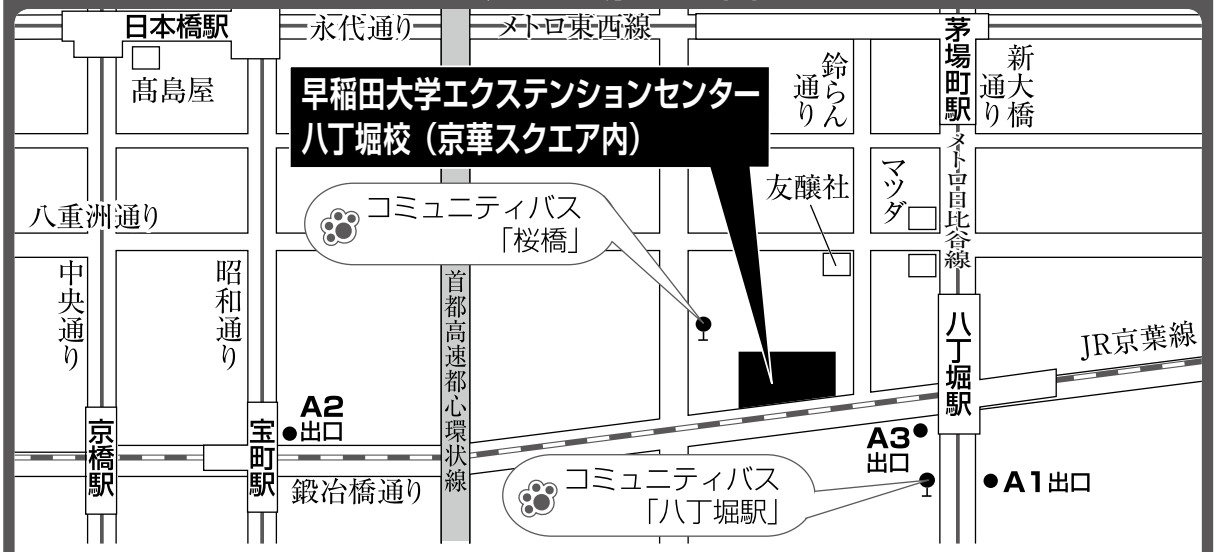
回数	日程	講義内容
第1回	10/ 2(火)	ホームズ物語の構成
第2回	10/ 9(火)	ホームズ文献紹介
第3回	10/16(火)	作者コナン・ドイルという人物
第4回	10/23(火)	翻訳史と翻訳家たち
第5回	10/30(火)	ホームズ物語全訳者　延原謙
第6回	11/ 6(火)	ヴィクトリア朝という時代背景
第7回	11/13(火)	ホームズ物語の挿絵
第8回	11/20(火)	ホームズと日本人
第9回	11/27(火)	児童文学のホームズ
第10回	12/ 4(火)	ホームズ映画の歴史

講師紹介

中西　裕（なかにし　ゆたか）

早稲田大学・昭和女子大学講師、元昭和女子大学教授。早稲田大学第一文学部卒業後、早稲田大学図書館司書として勤務。日本シャーロック・ホームズ・クラブが1977年に創立されたときから会員となる。ロンドン・シャーロック・ホームズ協会会員。著書に『ホームズ翻訳への道―延原謙評伝』（日本古書通信社）など。

会場図



【交通】 ■ 地下鉄 日比谷線、JR京葉線「八丁堀駅」A3出口より　徒歩1分
■ 地下鉄 浅草線「宝町駅」A2出口より　徒歩7分

中央区八丁堀3-17-9　京華スクエア3階
☎5117-2073

連携講座 ③－15【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　定員　30名

◆中学生レベルの英語で紹介する中央区

主　題 総務省の最新の統計によると、日本に在住する外国人の人口は過去最高となりました。着実に増え続ける日本在住の外国人ですが、慣れない日本の暮らしにストレスを溜めたり、母国にいた時よりも苦労することが多いでしょう。そんな日常生活の心配ごとの解決には、人的ネットワークが頼りです。母国の友人が周囲にいなければ、頼りになるのは日本人であるあなたです。

この講座は、中央区民として、外国人の暮らしに役立つスポットを案内できるようになることが目標です。全 10 回の講座では、毎週 1 つのテーマを取り上げていきます。外国人の相談に乗りながら、友人となって会話も楽しめることでしょう。講義そのものはユーモアを交え、楽しく学んでいただける形で進めたいと思います。Welcome　Everybody!

講座番号 ③－15

時　間：午後5時～6時30分
場　所：早稲田大学
　　エクステンションセンター
　　八丁堀校
回　数：10回
受講料：7,000円

【対象】基礎～初級レベル（英検 3 級以上準 2 級未満）の運用力をお持ちの方。

※レベルや内容などについてのお問い合わせは八丁堀校（03-5117-2073）講座担当までご連絡ください。

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	10/ 3(水)	中央区で暮らすなら、まずはここ　～中央区役所～	Robert L.Plautz
第2回	10/10(水)	中央区の魅力を教えよう　～中央区観光情報センター～	
第3回	10/17(水)	家族でお参り　～水天宮～	
第4回	10/24(水)	子供の教育　～晴海中学校～	
第5回	10/31(水)	病気になったら　～聖路加国際病院～	
第6回	11/ 7(水)	お買いものに行きたい　～銀座～	
第7回	11/14(水)	日本の伝統芸能に触れる　～歌舞伎座～	
第8回	11/21(水)	余暇を過ごす　～石川島公園～	
第9回	11/28(水)	日本人の信仰を知る　～住吉神社～	
第10回	12/ 5(水)	総合復習	

講　師　紹　介

Robert L.Plautz（プラウツ ロバート）

早稲田大学エクステンションセンター講師、翻訳家。アメリカ、ミシガン州出身。1983年ブリガム・ヤング大学（歴史専攻）にて、最優等（Summa Cum Laude）で学士号を得る。1984年10月東京外国語大学へ留学し、日本の近代史の研究を行う。1988年コロンビア大学（ジャーナリズム学部）にて修士号を得る。1988 ～89年ルイジアナ州シュリーブポートジャーナル社にて、社説担当副編集長として従事。国際交流員として大分県企画調整課に勤務、平松元知事の通訳を行う。

連携講座 ③－16【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　定員　30名

◆漢方と顔のツボ健康法

主　題「肌は内臓の鏡」と言います。内臓の疲れは疲労感や脊椎の歪みとして現れてきます。漢方医学は五臓六腑を中心とした医学です。五臓六腑と関連したツボが手足にもあるように、顔にもあり、そのツボへの軽い刺激で、五臓六腑を賦活すると、脊椎の歪みも改善され、それは顔の肌の健康美にもつながってきます。

この講座で、脊椎の歪みぐあいを調べ、関連する臓腑の疲れを顔のツボで癒しながら、脊椎の改善を図ると同時に、肌も蘇ってくることを共に学んでみませんか。

回数	日程	講義内容
第1回	10/ 4(木)	漢方の考え方①
第2回	10/11(木)	漢方の考え方②
第3回	10/18(木)	漢方の考え方③
第4回	10/25(木)	顔のツボの各論編①
第5回	11/ 1(木)	顔のツボの各論編②
第6回	11/ 8(木)	顔のツボの各論編③
第7回	11/15(木)	顔のツボの各論編④
第8回	11/22(木)	顔のツボの各論編⑤
第9回	11/29(木)	顔のツボの各論編⑥
第10回	12/ 6(木)	顔のツボの各論編⑦

講座番号 ③－16

時　間：午後1時～2時30分
場　所：早稲田大学
エクステンションセンター
八丁堀校
回　数：10回
受講料：7,000円

講　師　紹　介

織田　啓成（おだ　ひろなり）

薬剤師・鍼灸師、元衛星テレビ「暮らしの中の漢方」講師、丹平漢方専任講師、埼玉県療術師会専任講師。東京都生まれ。東京薬科大学卒業。専攻分野は漢方医学(漢方薬・針灸医学)。著書に『手の反射療法』、『足裏の反射療法』、『漢方医学概論』、『経路相関論』、『健康のメカニズム』、『大往生のための健康読本』など多数。

連携講座 ③－17【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　定員　30名

◆江戸ことば・東京ことば

主　題 江戸のことばはどのようにしてできたのか、その背景や特色を整理したうえで、具体的に江戸のことばを反映した資料をみていきます。資料としては、洒落本、滑稽本、人情本などの江戸の戯作を中心に取り上げます（読みにくいものではありません）。ことばとして注目すべきところに重点を置いて、江戸の人々がどんな話し方をしていたのか、具体的にたどります。

また、明治に入ると、江戸のことばは東京語に引き継がれました。江戸語と東京語はどのような関係で、どのような違いがあるのか、東京語がその後の日本語の中で果たした役割とあわせて考えてみたいと思います。

回数	日程	講義内容
第1回	10/ 4(木)	江戸語の形成とその特色
第2回	10/11(木)	江戸語の成立 ～江戸時代中期のことば～
第3回	10/18(木)	江戸語の多様性 ～江戸時代後期のことば～
第4回	10/25(木)	江戸語から東京語へ ～江戸時代末期のことば～
第5回	11/ 1(木)	東京語の形成～近代語への展開～

講座番号 ③－17

時　間：午後5時～6時30分
場　所：早稲田大学
エクステンションセンター
八丁堀校
回　数：5回
受講料：3,500円

講　師　紹　介

高梨　信博（たかなし　のぶひろ）

早稲田大学教授。専門は江戸時代を中心とする日本語の歴史。特に、辞書の形をとった資料を中心として江戸時代の語彙や表記について研究しています。江戸のことばは、まだわからないことがたくさんありますが、できるだけ正確に、わかりやすくお話ししたいと思っています。

連携講座 ③－18【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　定員　30名

◆経済ニュースから何を読み解くか

主　題 財政悪化、マイナス金利政策、少子高齢化など、日々、経済ニュースがメディアから報じられています。それらのニュースの背景にあるものは何か、といった角度から深掘りしていくと、どのような問題が浮かび上がってくるのか。さらに、将来的にどのような事態が招来されうるのかなどを考えます。

※経済動向について最新ニュースを取り上げますので、各回のタイトルは変更することがあります。

回数	日程	講義内容
第1回	10/ 5(金)	いつまでマイナス金利は続くのか 貿易不均衡問題の行方は
第2回	10/12(金)	深刻な財政悪化は何をもたらすのか
第3回	10/19(金)	安倍政権の「忖度」問題は何を意味しているのか
第4回	10/26(金)	地方の疲弊に妙薬はあるのか 金融危機は再発するのか
第5回	11/ 9(金)	デジタル革命は社会をいかに変えるのか

講座番号 ③－18

時　間：午後5時～6時30分
場　所：早稲田大学 エクステンションセンター 八丁堀校
回　数：5回
受講料：3,500円

講　師　紹　介

浪　川　　攻（なみかわ　おさむ）

経済ジャーナリスト。上智大学卒業。新聞、雑誌の記者を経て、1998年から2016年まで東洋経済新報社と記者契約を結ぶ。以後、フリーのジャーナリストとして、テレビ朝日の報道ステーション、やじうまテレビなどのコメンテーターとしても活躍。著書に、『金融自壊』(東洋経済新報社)、『銀行員はどう生きるか』(講談社)など。

連携講座 ③－19【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　定員　30名

◆日本神話の天空と大地
～神々の故郷、古代出雲を逍遥す～

主　題 2013年の出雲大社大遷宮以降、出雲には多くの方々が訪れています。出雲の地は、唯一完本に近い『出雲国風土記』が残っており、1300年余も昔の余韻が大地に天空に、そして神社に、また人々の生活に漂っています。その余韻を受け止めながら、出雲に息づく神々の物語を映像を交えて訪ねてみましょう。大国主命・スサノヲ命・稲田姫、さらにアジスキタカヒコ命などの神々が主人公です。今までにない古代世界が目の前に浮かんでくるでしょう。出雲があなたを誘うかもしれません。

回数	日程	講義内容
第1回	10/ 9(火)	古代出雲へのきざはし
第2回	10/23(火)	出雲大社の巨大神殿
第3回	11/ 6(火)	出雲国造（出雲大社宮司）の居館
第4回	11/20(火)	スサノヲ命の旅路を行く
第5回	12/ 4(火)	黄泉の国は何処に

講座番号 ③－19

時　間：午後3時～4時30分
場　所：早稲田大学 エクステンションセンター 八丁堀校
回　数：5回
受講料：3,500円

講　師　紹　介

関　　和　彦（せき　かずひこ）

日本地名研究所所長、京都造形芸術大学客員教授。早稲田大学第一文学部、同大学院修士課程修了。博士(歴史学、國學院大學)。専門は日本古代史。著書に、『卑弥呼』、『古代農民忍羽を訪ねて』、『古代出雲への旅』、『出雲国風土記註論』他多数。『古代に行った男ありけり』で第一回古代歴史文化しまね賞を受賞。